

1 法学部



法学部独自の奨学金制度
「やる気応援奨学金」を利用した
学生の体験をご紹介します

サンフランシスコを選んだ理由

私は2018年度の「やる気応援奨学金」をいただき、春休みを利用して約1カ月間、アメリカのカリフォルニア州に位置するサンフランシスコへ滞在しました。今回の留学のテーマは「フードバンクのボランティアへの参加」と「英語力の向上」でした。ホームステイをしながら語学学校へ通い、放課後はフードバンクへ足を運んだり、学校のアクティビティーに参加したりしました。

サンフランシスコはその美しい観光地やビジネス街などで有名なように、栄えている街ではありますが、その良い面とは裏腹に、ホームレスが多く見られる街でもあります。そういった状況のなかで、彼らホームレスの人々



ミッション地区のウォールアート (mural)

のために活動している「SF MARIN FOOD BANK」というサンフランシスコのボランティア団体を1年次の英語の授業で知り、実際に今回の留学の際に訪れてみることにしました。

フードバンクでの出会い

私はフードバンクには週に1〜2回参加し、そのなかでさまざまな出会いがありました。参加している人々は、留学生や地元の人々、周辺企業に勤める方々など年齢も幅広く、活動内容はオレンジやグリーンピース、お米をパック詰めするなどその日によってさまざま



フードバンクのボランティアコーディネーターと

までした。また、私のように個人で参加する人はごくまれでしたが、一人ですぐに作業をすることはなく、一人でいる外国人の私にもみんな気さくに声をかけてくれて「日本は素晴らしい」「また訪れたい」など、うれしい言葉もたくさんいただき、同時にたくさんの方が日本を訪れてくれることに喜びを感じました。

特にボランティアコーディネーターの方には大変親切にいただき、ボランティア活動時間外にもサンフランシスコの街を案内してもらったり、さまざまな話を聞かせてもらったりしま

多文化に触れた サンフランシスコ での経験

いいおかまゆ
飯岡 麻由

法学部国際企業関係法学科2年
私立中央大学附属高校(東京都)出身

した。今でもSNSでコンタクトを取っており、私の友人でもあり、英語の先生でもあります。会話のなかで強く印象に残っているのはアメリカの人間関係で、興味深い話を聞くことができました。

実際に私がサンフランシスコで生活して感じたことは、ホームレスの多さに加え、職種によって働いている人種が違うことでした。コーディネーターの方からは、フードバンクで働く人々は主に倉庫で作業をする人と、オフィスで事務作業をする人の二つに分かれ、前者は黒人をメインとしたさまざまな人種、後者はほとんどが白人の職員であるという事実を聞かされました。この問題は、街で生活をしていて私が違和感を感じるほどに、ありありと現れていました。当初はフードバン

語学学校を通して触れた文化

私が通った語学学校では、放課後に

クを通して食料を必要としている人々の問題を考えようと訪れたアメリカでしたが、今も根強く残っている人種差別問題について深く考える機会にもなり、改めて重要な問題であることを認識しました。



ボランティア先で、日本人学生の集合写真に混ぜてもらう（前列右から2番目が筆者）

From the Faculty of Law



法学部 だより



「法廷傍聴会」について

法学部事務室 伴 さらら

白門祭前日の全日休講の日、今年度は10月31日（木）に当たりますが（この『草のみどり』がちょうどお手元に届くころには実施が終了していることになりました）、法学部では毎年、「法廷傍聴会」を行っています。中央大学卒または中央大学法科大学院卒の法曹実務家の団体である「中央大学法曹会」所属の現役弁護士の方のご引率で、霞が関にある東京地方裁判所で裁判の傍聴をし、終了後には昼食をとりながら、先生方に傍聴した法廷の内容について解説をさせていただくというもので、特段の費用はかかりません。また参加学生の皆さんには、実施後に簡単な感想文を出していただくことになり

ます。以下は昨年度までの参加学生から寄せられた感想文の一部です。「日ごろ私たちが学んでいる法律の知識がどのように使われているのかや私たちが将来めざしている法曹実務家の方々が法廷でどのように活躍されているのかなどといったことを生で見ることができました」「自分の将来を考えるうえでとても良い機会になりました。その上、弁護士の先生方から解説を聞いた質問ができたりますことは減多にありません」「傍聴した裁判の話はもちろんですが、(中略)実務家として経験に基づいた貴重な話など、日ごろ学部

の授業を聞いていただけでは決して聞くことのできない貴重なお話を聞くことができ、大変ためになったと思っています」「法律について学んでいても、それが実際にどのように運用されているのかということ、専門家の生の声を聴きながら学べる機会はなかなかないと思いますが、残念なことに近年参加者が減少傾向にあります。ぜひご父母の皆さまからご子女の皆さまへ、「夕食の席、朝ご子女が大学へ出かけられる際、はたまたメールなどで、「法廷傍聴会って知ってる?」と会話のきっかけにしたいだければ幸いです(妙な雰囲気の流れた際にはご容赦ください)。」

講師の方々がサンフランシスコの歴史や文化について特別講義を設けてくれたり、アクティビティを利用して実際にクラスメイトとともにその場に足を運び、歴史や文化に触れたりすることができました。サンフランシスコには多種多様な人々が生活をしてきた歴史があります。そのことが影響して、街にはさまざまな文化が色濃く残っています。たとえば、ゲイの聖地と言われ、街じゅう

がレインボーの旗や壁、道であふれるカストロ地区、ヒスパニックの人々がさまざまな想いを込めて描いたウォールアートが今も残るミッション地区など。どこも魅力的で、さまざまな文化に触れられるサンフランシスコを選んでよかったです。活動を通じて

今回の活動は、私にとってはただ単に語学留学をしただけでなく、ゼロからプランニングして行動に移すことの大変さを身をもって感じる経験になりました。そして、異国の地へ一人で飛び込んだことで自分自身を成長させ、大きな自信を得ることができたと思います。最後になりましたが、このような機会を与えてくださった関係者の方々、活動をサポートしてくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。